



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のこぼ 「このままでいいか日本」 **監事 加藤泰一郎**

先日の SEF サロン入鹿山氏の「IoT 時代の衝撃」は非常に興味深い講演だった。入鹿山氏も言っていたが、IoT や AI の世界では日本は米国や中国に大きく差をつけられている。ファーウェイの初任給は 40 万円と日本企業の 2 倍近い額だそう。横並びの思想が強い日本ではおいそれとこの初任給に対抗することはできない。市場も人材も中国に奪われつつある。国立開発研究法人産業技術総合研究所の常勤職員 2320 人の平均給与は 928 万円、非常勤職員 1280 人の平均給与は 327 万円である。平均年齢は 48 歳。(産総研の情報公開資料より)これが日本でトップレベルの研究開発法人の給与水準である。優秀な研究者が海外に流出することは必至である。日本の誇ってきた品質もあちこちではころびが目立ってきた。あらゆる面で日本社会は劣化しているように見える。大学院もない獣医学部に先端ライフサイエンスは望むべくもない。幼児教育を無償化して、この国の子供たちが世界をリードするようになるには何年かかるのだろうか。劣化する政治も経済も根本的な治療が必要ではないかと思う今日このごろである。若者たちよ頑張っ欲しい。2017 年の最後の月のメッセージはどうも悲観的になり過ぎたかもしれない。新年の巻頭言が明るいものになりますよう。

11 月度 第 170 回理事会報告

《第 170 回理事会》	5. 15 年史冊子配布状況の件 →報告了承
1. 準会員(堀田氏)入会の件 →報告承認	6. 今期マイナンバー収集の件 →報告了承
2. 16 期収支予算の件 →報告了承	7. SEF たより HP での閲覧への変更の件→報告了承
3. 会員増 PJ 成果報告の件 →報告了承	8. 会員交流会議事録の件 →報告了承
4. 15 年史編纂委員会報告の件→報告了承	9. H29 年 10 月会計収支報告の件 →報告了承

事業報告 **業務支援事業部(GS部)** **担当理事 眞鍋康雄**

上期が終わり、上期実績と下期見通しから今期の通期見通しが見える段階にきました。今期は新規の業務受託案件や研修事業案件が受注に結び付き、ここ 5 年間で最高の収入となり、対予算 160%程度になる見込みです。ここで当事業部の上期運営項目と担当理事の業務内容について申し上げますと、①定例的な基本業務の他に、②新規研修事業に伴う人材の探索活動、③新規テーマ「事業案件、情報源の拡大」に伴う某社マッチングサービスへの加入、④「新規会員の得意分野、やりたい事を聴く会」の立ち上げ、⑤HP 改訂作業への関与、⑥15 年史作成作業への関与、⑦会員増プロジェクトへの関与など多岐にわたりました。このために私ども担当理事は多種の業務対応に苦慮・疲弊した次第です。今後は「事業の活性化・充実」を志向する中で「担当理事の業務量を皆で分担軽減」を図りつつ余裕を持った、楽しい事業活動の展開が望まれます。

SEF サロン 第 102 回報告・103 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第 102 回：報告 》 11 月 29 日実施
 講師：入鹿山剛堂氏 入鹿山未来創造研究所長
 演題：「IoT 時代の衝撃—世界に大変革を及ぼす IoT の怖さとは—」

今、AI とならんで話題の IoT (Internet of Things) についての講演です。IoT は単なるハード的な仕組みでなく、ビジネスが「モノづくりからコトづくりへ」と 20 世紀型の付加価値モデルやフィードバックモデルが終焉し、HyperCycle (利用者が増えるほど商品価値が増す) モデルへ大きく変革すべきであると語られ、日本が立ち後れているとの指摘もありました。大変盛会で、皆様からも有意義な講演との声が多くありました。

《 第 103 回：案内 》
 日時：2018 年 1 月 17 日(水) 18 時 場所：青学会館内アイビーホール 1F 「フェリア」
 演題：「未定」 講師：未定

11 月度会員動向

会員入退会 入会 準会員 堀田研二 氏	12 月 1 日 会員数 正会員-31 名、準会員-37 名、賛助会員-3 社
------------------------	--